

## アミール・ツアルファティ Q&A ライブ

アミール・ツアルファティ

- フィリピンから Q&A ライブ -

<https://youtu.be/1Y8Dk29QZ74>

※残念ながら、Q&Aのはじめの45秒ほど、ライブ配信が停止しました。そのため、その部分を編集して、再開した箇所から始めています。

皆さんからの質問は、現在の情勢に関するもの、エゼキエル書に関するもの、イスラエルに関するもの、ユダヤ人と神殿について、患難と黙示録に関するもの、それから千年王国について、聖書に関する一般的な質問、およびその他のものです。それでは、最初の質問から始めましょう。

Q:世界統一政府について：「イスラエルはその体制に加入するか、あるいは世界統一政府の要求に従うと思いますか？」

A:皆さん、私たちが知っていることの1つは、イスラエルが反キリストの嘘にだまされるということです。それが、来たるべき約束された救世主であり、平和、安全、そして繁栄をもたらし、第3神殿の建設を許可したりすると考えます。私は、彼らが彼（反キリスト）の嘘にだまされると信じています。イスラエルは世界の一部です。だから世界統一の体制があれば、その一部になろうとするでしょう。しかし、私はその時点ではまだ、イスラエルは、獣の印を受け入れなければならないところには到達していないと思います。私が心底信じているのは、彼（反キリスト）が自らを神として宣言する瞬間、それが、言うまでもなく、彼がすべての人に、自分のことを崇拜させようとする時で、そして、その時にユダヤ人たちは逃げます。その時、彼らは砂漠に逃げます。そして、神はそこに1260日間、彼らのために場所を準備されます。それは、もちろん黙示録12章によるところです。たしかに、あの男（反キリスト）には何らかの高い期待が寄せられるでしょう。しかし3年半後に、彼が彼らとの契約を破って、彼が本当は何者であるのかが分かったら、彼らはもちろん、たもとを分かちます。その後、彼は彼らを迫害し、殺そうとします。しかし、神が砂漠で彼らを保護します。多くの人たちは、それがペトラの砂漠かもしれないと思っています。預言者イザヤが「セラ」に言及しているからです。それはギリシャ語で「ペトラ」です。それは古代モアブの領域で、今日のヨルダンです。

### 2番目の質問

Q:「終末預言において、中国、日本、北朝鮮は、どこに位置していますか？」

A:まず第一に、預言ということ言えば、世界のすべての国がその名称や、あるいは聖書の名称によって言及されているわけではありません。私たちに分かっているのは、少なくとも中国については、東洋の王たちが、反キリストと戦おうとして、はるばるやって来ることです。それは、もちろん黙示録によるところです。多くの聖書学者は、これが中国であり、中国の軍隊などであると信じています。そして、彼らがユーフラテス川とティグリス川を越えて来て、ハルマゲドンの谷に突入してくる、と。それだけです。北朝鮮と日本…、私がかつて知っているのは、患難を通して、島々が完全になくなるであろうことです。それも1つの理由かもしれませんが、私にはハッキリとは分かりません。彼らは、それ自体では言及されていません。しかし、聖書が世界の人々について語る時、聖書は…「ただいま、電波が途切れています」

Q:「北朝鮮との『トランプ・ディール（取引）』とは何ですか？それは第2のイラン核合意ですか？」

A: トランプが北朝鮮としている取引は、イラン核合意とは異なります。イラン核合意は、基本的に10年後の核爆弾への道でした。イラン核合意は、彼らがすでに持っているものを維持することを許しました。そして、彼らがまだ何かを生産しているかどうかを確認するためには、許可を求める必要があります。これはイラン核合意とは違います。イラン核合意は恥ずべきものでした。私は、ドナルド・トランプが北朝鮮とそのような取引をしているとは思いません。北朝鮮はイランと違って、すでに核兵器を保有しています。彼らは核を持っています。彼らはすでに核実験を行いました。だから、私たちが彼らに求めているのは、非核化です。彼らが核爆弾そのものを得るのを防ぐことではありません。それは別の話です。もちろん、トランプ大統領が金総長に伝えようとしているのは、「我々は、あなたを破壊するためにここにいるわけではない。我々は、あなたを助けるためにここにあります。そして、あなたが研究し続けている爆弾は、あなたが生き残るためのものです。我々は、必ずあなたが生き残るようにします。そして、必ずあなたが繁栄するようにもします。あなたの経済も国民も、すべてがはるかに良くなります」繰り返しますが、これは異なる取引です。

Q: 「私がYouTubeで聞く見張り人の多くは、トランプの和平案は間違いなくエルサレムを分割し、二国家解決案を含むだろうと考えています。どう思いますか？」

A: 第一日目から、私は皆さんに言ってきました。トランプ大統領が3年前に当選した瞬間の、一番最初のアップデートを確認していただいて結構です。私は、トランプはエルサレムを分割しないとみんなに言いました。事実、彼はエルサレムを分割しなかっただけでなく、彼はアメリカ史上で初めて、エルサレムをイスラエルの首都として認め、大使館をエルサレムに移した大統領です。そして、その間、彼はパレスチナ人のために東エルサレムにあった総領事館を閉鎖しました。ですから、もしも彼にエルサレムを分割する計画があったら、彼は決して東エルサレムのパレスチナ人用にあった領事館を閉鎖することはなかったでしょう。彼は、そうしたのです。トランプ大統領は、エルサレムがイスラエルの首都であるという考えに徹しています。そしてパレスチナ人が武器を所有せず、武装しないで自治権を持つという考えに。つけ加えて言えば、サマリヤとユダヤに住むユダヤ人の100%が自分たちの家から立ち退かされたり、追い出されたりすることはありません。だから、これは全く違って、まもなく明らかにされるかもしれないトランプ大統領の「世紀の取引」は、土地を分割することとは何の関わりおももありません。それはすべて、問題解決をもたらす財政的支援に関わっています。ちなみに、主にガザの人々のためです。

Q: 「イスラエルに効力のある政府が存在せず、そして政府がないために、クネセト（イスラエルの立法府）がまもなく解散しようとするなか、敵が攻撃してきたら、どう対応するかを決定するのはだれですか？」

A: まず第一に、イスラエルには政府があります。暫定政権があり、総理大臣がいて、諸大臣がいます。彼らは今、大きな変更を行うことはできません。なぜなら、彼らは明らかに一連の選挙の後に選ばれた政府ではないからです。しかし彼らは主権を握り、統治する権限を持っています。そして、首相はまだベンジャミン・ネタニヤフです。彼らは多くのリベラルな人たちがそれを聞きたくないことを知っていますが、彼が総理大臣です。そして、このまえ確かめたところ、ドナルド・トランプもアメリカの大統領です。だから、何があっても我々にはまだ政府があり、我々にはまだ軍隊があり、我々はどうすべきかを知っています。

次の質問。

Q: 「契約の箱は見つかっていますか？新しい神殿が建てられたら、そこに入れられますか？」

A: 皆さん、契約の箱については、多くの憶測があります。その1つは、契約の箱が発見され、エチオピアにあるというものです。もうひとつの推測は、伝統よりも事実に基づいていると私が信じているものですが、契約の箱が、まだ神殿の丘の下に埋められている可能性が高いというものです。1967年、イスラエルが旧市街を奪還した直後、我々がヨルダンの占領軍から、それを奪った後、シュロモ・ゴレンというその地域のラビが掘り始めました。彼は壁、つまり嘆きの壁に沿って発掘を行いました。ある時点で、彼には門が見えましたが、その門は地底にありました。それはイエスの時代に人々を神殿に導いた古代の門でした。その門を通して、彼はどうにか這い込みました。そして、奥の部屋の1つ、非常に暗い部屋の中で、彼は動物の皮

で覆われた物体を見ました。それは、ほこりだらけでした。彼は言葉を失いました。その覆われた物体の大きさと形が、契約の箱の大きさと形に違いないと思ったからです。彼は飛び出しましたが、少しの間、言葉が見つかりませんでした。それから、どうやら彼はしゃべりすぎたようです。アラブ当局、イスラム当局が、ユダヤ人が神殿の丘の下を掘っていることを聞いた時…、それは1967年のことでしたが、ヨーロッパからインドネシアのジャカルタに至るまで、暴動が起こりました。最終的に、その入り口はコンクリートで封鎖されました。だから、彼が契約の箱を見たのかどうかは決してわかりません。1967年に注がれたコンクリートの壁を取り除かない限りは、私はそこにあるかもしれないと信じています。私たちが神殿の丘を完全に掌握したら、取り出すのではないかと思います。しかし覚えておいてください。たとえ私たちがそれを持っていなかったとしても、皆さんに思い出してほしいのですが、第2神殿は、神殿がまだ立っている間も契約の箱はありませんでした。思い出してください。最初の神殿が破壊された後、契約の箱は隠されました。そして、第2神殿を建てるために発見されることも、回収されることもありませんでした。

エゼキエル：

Q:「エゼキエル38章と39章では、預言者が馬や騎手について言及する箇所がいくつかあります。彼は神が彼らを動物たちに餌食として与え、彼らが食事の一部になると、字義的にとっているようです。なぜ多くの教師が、これらの言及をかわすように見えるのか説明してもらえますか？」

A:いいですか。私たちは、エゼキエルが、どういう意味でそう言ったのかハッキリとわかりません。しかし、エゼキエルが2500年以上前に物事を見たことを覚えておいてください。そして、彼がそれらを解釈できたのは2500年以上前の用語と方法でした。私はまた、いくつかの解説を読みました。その問題については、多くの解説があります。私はいくつかの解説を読みました。これらの解説によると、預言において、馬は「悟りのない人々」の象徴です。ダビデが書いたように、「あなたがたは、悟りのない馬や驃馬のようであってはならない。それらは、くつわや手綱の馬具で押さえなければ、あなたに近づかない」それは詩篇32編9節です。馬に乗ることは、主の日に大きな霊的対立に関するいくつかの預言に共通する特徴でもあります。そこで、ヨエル書2章で馬が言及されています。ゼカリヤ12章、黙示録9章、黙示録19章。おそらく、唯一、馬が馬でありながら、また、比喩的で、そして彼らの色が、非常に象徴的であるのは、天国での馬です。やはり、多くの解説があります。皆さんは後で、それを見ると良いでしょうが、しかし、ただ私に言えることは、エゼキエルが馬を見て、エゼキエルが馬について書いたということです。…やはり、これらが悟りのない人々であるならば、イスラエルに攻めてきて、それらの猛禽類に食べられるのは、それらの人々、それらの戦士です。

人々が私に尋ねる、もうひとつの質問は、次の通りです。

Q:「エゼキエル38章で、イスラエルが壁のない村に住んでいることへの言及は、何を意味しますか？イスラエルにはいま、多くの壁があるようです。それに軍事防衛のネットワークも」

A:いいえ、私はイスラエルに住んでいます。多くの壁はありません。実際、壁は全くありません。今日、都市にある唯一の壁は、古代の壁です。エルサレム、アッコや他の古い都市からのものです。しかし、私たちがヨルダン川西岸と私たちとの国境の一部に建てた壁があります。しかし壁があるのは、その境界線の長さの約5%に過ぎません。《ただいま、電波が途切れています》

Q:「…しもベダビデは、彼らの王になります。千年王国に関するものです。私は、いくつかの保守的な解説を読みました。そして、これが文字通りダビデを指すのか、イエスを指すのか、異なる意見があります」

A:まず初めに、私が千年王国を取り扱ったメッセージがあります。ビホールドイスラエルのYouTubeチャンネルで、それを見てもらうことができます。『千年王国』というメッセージです。そして、私はその中で、この「ダビデ」の問題について言及しています。ユダヤ人は、ときどきメシアのことを「ダビデ」と呼びます。メシアがダビデの血統から来ることが知られていたからです。新約聖書は、しばしばイエスを「ダビデの子」と呼びます。マタイ15章22節とマルコ10章47節を読んでもわかります。ダビデの子であること以外に

も、メシアがダビデとして言及される理由があります。私たちは、旧約聖書のダビデ王が「神の心にかなう人」だったことを知っています。そのことは使徒13章22節から分かります。彼は思いがけない王で… «電波不調» そして、神の御霊が彼の上にあります。（第1サムエル16章12節から13節）ダビデは、そこでキリストの予型です。予型とは、他のだれかのことを予示（よじ：前もって示すこと。まえぶれ）する人のことです。ところで、この類型論のもうひとつの例はエリヤです。彼の働きはバプテスマのヨハネのそれを予示しました。マラキがヨハネのことをエリヤと呼んだほどです。それはマラキ4章5節、ルカ1章17節、マルコ9章11節から13節にあります。私はまた、ダビデが復活することも指摘したいと思います。彼は旧約聖書の聖徒だからです。彼は千年王国の初めに復活するでしょう。すべての旧約聖書の聖徒たちと一緒に。そしてダビデは、その千年王国でイエスと共に支配する者たちのひとりになるでしょう。（ダニエル書7章27節）しかしながら、ダビデだけでなく、すべての信者が国家を支配します。（黙示録2章26節から27節；黙示録20章4節）そして私たち全員が支配するだけではなく、第1コリント6章2節が示唆するように、世界をさばきます。使徒ペテロはクリスチャンを、「選ばれた種族、王である祭司、聖なる国民」と呼んでいます。それは第1ペテロ2章9節です。私たちは、イエスが王の王であることを知っています。人間的に言えば、イエスはダビデ王朝の出身です。しかし、権力、栄光、義、そして他のあらゆる点で、彼は当然「より偉大なダビデ」と呼ばれています。そして、「主権はその肩に」（イザヤ9章6節）あります。旧約聖書も新約聖書も明らかにしています。千年王国の期間、および永遠にわたって、未来の王はイエス・キリストであると。そして、彼ひとりだけだと！それはエレミヤ23章5節、イザヤ9章7節、イザヤ33章22節にあります。それから黙示録17章14節、第1テモテ6章15節です。というわけで、その質問の答えになっていたらいいと思います。

Q: 「貧困に暮らすユダヤ人が飢えているというような広告がたくさんあります。ホロコーストの生存者が世話をされていないとか。もしイスラエルがそんなに繁栄している国なのなら、これはどういうことですか？」

A: 私も同じ質問をしています。私は問うています。「これはどういうことか？」残念ながら、言わせてください…私がこれから言うことを許してくれるといいのですが。多くのミニストリーが、お金のために、ホロコーストの生存者や恵まれない人々を利用しています。自分たちが人々からお金を得るための方法として。イスラエルは世界で最も裕福な国ではないかもしれませんが、しかし、イスラエルにはアメリカほど物乞いをする人やホームレスの人はいません。イスラエルは…、医療の助けが必要な人はだれでも、どの病院にでも入ることができます。そして保険がなくても、即時に手当を受けることができます。私たちは、まずその人の面倒を見ます。私は、私たちが、どの国にもあるような問題を抱えていると思います。しかし、それらはミニストリーによって誇張されています。寄付を得るためです。それだけは言えます。私はそれを嫌というほど見てきました。「子牛が牛乳を飲みたい以上に、牛は子牛に飲ませたがる」言い換えれば、必要がある以上に、与えたい人がいるのです。それが彼が寄付を受け取る方法だからです。だから、私は皆さんに知ってほしいんです。私はアメリカにいた時に、それらの広告をテレビで見ました。クリスチャンとユダヤ人の組織のものです。皆さん、私にはひとつ言えることがあります。福音を勧めないところに、お金をあげないでください。イスラエルはお金を必要としていません。イスラエルは幼稚園や防空施設を必要としていません。イスラエルにはイエスが必要で、私に言えるのは、それだけです。彼らはメシアを必要としています。彼らが平和を望むなら、彼こそが平和の君です。彼らが王を望むなら、彼こそが王の王です。彼らが羊飼いを望むなら、彼こそが優れた羊飼いです。そして、私がひとつ皆さんに言えることは、問題を抱える人々は常にいます。そして、社会は常に助けなければなりません。そこに疑いの余地はありません。しかし、テレビのコマーシャルで見るものについては、それは大げさに誇張されています。そして、それは現実とは違っています。

Q: 「12部族が消えたという人が、どうして大勢いるのですか？たとえば、アシェルのように、彼らのことは新約聖書に頻りに言及されているのに？」

A:まず第一に、12部族は消えたわけではなくて、いくつかは、何らかの理由で、異なる文化に同化しました。彼らはイスラエルの地に戻らなかったからです。しかし、ゆっくりと、徐々に、彼らは戻って来始めています。エチオピアから戻って来る人たちや、インドから戻って来るユダヤ人、中国から戻って来るユダヤ人、世界各地から戻って来るユダヤ人がいます。だから、私は彼らが完全に消えたとは言いません。

Q:「既存のサンヘドリンと70カ国運動についてコメントし、説明してもらえますか？そして、この運動に関するご自分の立場を教えてください」

A:私は、この運動についてあまりよく知りませんが、このことは言えます。今日あるサンヘドリンは、お笑い種です。彼らはイスラエルのいかなる組織からも認められていません。いかなるレビ系の組織からも。彼らは自ら買って出た人々です。だれも彼らを任命していません。彼らは終末の時代に自分を当てはめ、イスラエルや聖書の預言について人々の興味をかき立てますが、私は彼らのことを真に受けません。彼らは多くのことを行います。彼らは何よりもPRを一番よくしています。これはイカサマです。それが私の意見です。あなたに尋ねられたので、お答えしています。それが私の意見です。私はそれを信じないし、それに同意もしません。そして、大半のイスラエル人は、彼らのことを聞いたこともないと思います。それほど哀れな集団です。

Q:「ユダヤ人がそんなに憎悪される理由を説明してください。彼らは何をしたからと言って、そのようにあしらわれるのですか？」

A:さて、皆さん。それは非常に単純です。神が愛するものを、何でも、サタンは憎みます。そして、神が守るものを、何でも、サタンは破壊したがりです。最初は、イスラエルに対する憎しみは、彼らがしたことを原因としてはいませんでした。つまり、ふり返って見ると、パロが彼らを殺したがった瞬間からでさえ、彼らはパロに何もしていませんでした。彼は、そのように自分をはずかしめたイスラエルの神について怒っていました。しかし、やはり詩篇83編にあるように、人々が…、それは神の敵であり、神を憎む者たちです。彼らは神と戦うことはできません。それで、彼らは誰を狙いますか？神が保護する者たちです。そして、彼らは言います。「さあ、彼らの国を消し去って、イスラエルの名がもはや覚えられないようにしよう」だから、それは神の敵です。イスラエルの敵ではありません。しかし、彼らは神と戦うことはできません。だから、彼らはイスラエルを狙います。そして、彼らは理解することができません。どうしてこの国は、何年も経った今でも存在しているのか。2000年近くその国土から消えていながら、まだ存在し続けています。完全に、徹底的に彼らを破滅させるために大量虐殺が何度も試みられても。カセム・ソレイマニの試みでさえも。それでも彼らは繁栄し、敵が破壊されています。彼らは、どうしてもそれを理解できないのです。

ところで、間違っただけではありません。私はだれも怒らせたくありませんから、私はこの目で見ただけをお話します。いま、ニューヨークのブルックリンに行った、イスラエルのユダヤ人記者がいました。いま、ニューヨークのブルックリンでは、ユダヤ人に対する反ユダヤ主義の攻撃が高まっています。主に、あちらのアフリカ系アメリカ人社会によるものです。しかし、彼らの大半は平和な人々です。しかし、そうではない人々は、ユダヤ人について信じられないような意見を持っています。正直に言うと、私は彼らの何人かのインタビューを見ました。ちなみに、彼らは関与していない人たちです。記者は彼らに尋ねました。「なぜ、そんなに多くのユダヤ人が、現在、ブルックリンの黒人社会から攻撃されているのか理解できますか？」私はショックを受けたのですが、彼らの何人かは、「ユダヤ人は世界を乗っ取りたがっている」と言いました。「彼らは、この場所をそっくり乗っ取った。彼らはお金を持っているが、私たちにはない」そして彼らは言いました…。「なぜヒトラーが彼らを殺そうとしたのか、理解できる」やはり、無知が横行していると思います。私は、ヒトラーが何者で、ヒトラーが何をしたのか、彼らは本当には理解していないのだと思います。そして、私はまた、彼らが自分で何をしているのか、何を言っているのかさえ理解していないと思っています。しかし反ユダヤ主義は生きていて、活発で、存在しています。世界で最も啓発された、リベラルで近代的な国に存在します。非常に暗い、過激なイスラム教や、あるいはナチス的な考え方の中だけではありません。いいえ、それはアメリカに存在し、世界の多くの地域に存在します。…くり返して言いますが、これは

サタンの、悪魔的、極悪非道で、それは地獄の穴から来ています。これは、イスラエルを滅ぼそうとするサタンの試みです。思い出してください。教会とイスラエルは、聖書が「神の証人」と呼ぶ、ただ二つのグループです。イザヤ43章で、神はイスラエルを「あなたがたはわたしの証人」と呼んでいます。使徒の働き1章では、神は教会に「（あなたがたは）わたしの証人」と言っています。そして敵がいつも望むのは…、いいですか、犯罪者はいつも証人を殺し、証拠を破壊したがります。そのことを覚えておいてください。

Q: 「ダビデ王は律法の下で生きていたのに、どうして彼とバテ・シェバは姦淫のために石で打ち殺されなかったのですか。それは神がダビデと約束をされたからだったのですか…ダビデのウリヤ殺害は…」

A: まず第一に、すべての人が死に値します。死に値しない人は、世の中にひとりもいません。その人がこれまでにしてきたこと、今していること、これからすることのために。ところで、ダビデ王の罪は、彼がバテ・シェバと寝るよりも、ずっと前でした。それは彼がバテ・シェバを欲しがった時に、すでに罪でした。だから、非常に明確にしましょう。ウリヤが殺される前、バテ・シェバが妊娠する前に罪はすでに犯されています。そのこと自体が罪です。イエスは、山上の教えで律法について説明したときに、それを非常に明確にしました。“ほら、あなたたちは律法を、あなたたちが実現できると思うレベルにまで下げました。教えてあげよう。律法は大変に聖いものであるから、だれも成就することができません。だから私はあなたがたのために律法を成就しに来たのです。”

さて、ダビデ王の偉大さは、彼が罪を犯さなかったということではありません。しかし、ダビデ王の偉大さは、彼が自分の罪の大きさと罪深い性質を理解し、そして悔い改めたことです。皆さんに詩篇51編を読むことをお勧めします。ダビデの悔い改めの美しさを見てください。そして理解してください。私は詩篇51編から読んでいます。皆さんも、家に帰ったら、そこを読んでください。聖書には…、すみませんが、いまは読みにくいので、皆さんにご自分で詩篇51編を読んでもらいたいと思います。預言者ナタンが来て、ダビデにその罪をあきらかにした時のことです。ダビデの反応を見てください。すごいです。驚くほどの、すごい、すばらしいものです。だから、神はダビデをととも愛されるのです。神は完璧な人々を求めています。神は悔い改める心を求めています。神は、人々が罪に背を向け、霊とまことによって神を礼拝することを望んでいます。それが神の望まれることです。律法は、地球の歴史において、ひとりの人も救ったことはありません。アブラハムは信仰によって、信仰だけで義とされました。そしてダビデと旧約聖書の聖徒たちも、皆、そうでした。彼らの多くはヘブル人への手紙の11章で言及されています。ところで、それが私たちが聞き知る「雲のように私たちを取り巻く多くの証人たち」です。彼らが皆、聖徒であるのは、彼らが完璧に律法を守ったからではありません。彼らは皆、信仰によって義とされたからです。それが重要なことです。だから皆さん、そのことを覚えておいてください。ちなみにカバラというユダヤの非常に、非常に悪魔的な教えがあります。ダビデは罪のない人だった、と。実際、ある時、私がタクシーに乗った時のことです。私はあまり宗教的には見えません。私は普通の服を着ていて、宗教家ではありません。私はヤマカをかぶっていません。私は（宗教的な）フリをしようとはしません。私はジーンズにTシャツといったいでたちで、タクシーの後ろに座りました。そのタクシー運転手は、私にユダヤのカバラを信じさせて、改宗させたかったのだと思います。それで彼は何かについて話し、それからダビデについて話しました。「ダビデは罪のない人でした」と彼は言いました。「何だって？」と私は言いました。「ダビデは罪のない人だった」と彼は言ったんです。「カバラによると、『彼は決して罪を犯さなかった』」と。そこで私は「あなたは聖書を読んだ方がいい」と言いました。彼は私を見て、「どういうこと？」と聞きました。私は聖書が言っていることを言いました。「ダビデは罪人でした」聖書には、ダビデが自分が罪人である事を認めた、とあります。聖書によると、ダビデは神に赦しを求め、悔い改めました。彼が罪の性質を認めた後です。私は彼に尋ねました。「バテ・シェバとは何があったの？あれは罪ではないのですか？」「ウリヤとは？」「ああ、なぜウリヤがダビデに殺されたのかは知っていますよ」ダビデがゴリアテを殺そうとした時、ダビデはウリヤに剣を求めたのですが、ウリヤは剣を与えようとしなかったんです」私は言いました。「正気で言っているの？」ウリヤとゴリアテ…、それらは2つの異なる時期のことです。彼らは理解しようとしません。ダビデの偉大さは、罪のない人間であることとは何の関係もありません。そんなものは、ないのですから。それは罪人が恵みによって救われ、そして彼が悔い改め、神を必要としていることを認めること。そして、信仰だけが自分を救うことができるということを認めることです。そういうことです。では、続けます。



Q:「黙示録2章と3章で言及されている7つの教会は、教会のタイプを表しているだけでなく、教会の7つの期間を代表していると思いますか？」

A:いえ、それがさまざまな教会の霊的な状態について語っているのは、すごく明確であると思います。つまり、それは教会の「タイプ」です。「教会」の期間であると見なせるかどうか分かりません。なぜなら、歴史においては、ずっと、信仰を持った「残された者」が常にいたからです。そして、常に、信仰のない、それらの宗教的な人々がいました。だから、私はそれについてはよく分かりません。

Q:「子羊の婚宴の間、地上では何が起きているのでしょうか？」

A:それは非常に簡単です。子羊の婚宴の間には、地球は恐ろしい患難を経験することになります。世界が恐ろしい患難を経験している間、私たちには、天国で婚宴があることが分かっています。私たちがここから連れ出される理由のひとつは、そのためです。だから、それが起こります。

Q:「反キリストはユダヤ系であるが、信仰においては世俗的かもしれないという教えを聞きました。ダニエル書のある次のくだりのためです。『彼は、先祖の神々を心にかけず、女たちの慕う者も、どんな神々も心にかけない』それと、次の表現はユダヤの表現ですか？『第一には全能の神のため、第二にメシアのため』」

A:いいですか、反キリスト…、私たちが彼について知っているのは、彼が自分が敬虔であると人々に信じさせるということです。《ただいま、電波が途切れています》彼は彼の本性を表します…その後、彼は契約を破り、そして彼は…私たちが知っているように、サタンの業に従っていきます。だから、必ずしもユダヤ人でなければならないとは限らないと思います。なぜなら、イスラエルを殺そうとする人が、必ずしもユダヤ人ではないからです。しかし申し上げますが、私が知っている、今日、世界に住んでいる多くのユダヤ系の人たちが、自分たちのことをユダヤ人とは見なしません。また、イスラエルの良さを宣伝するために、それを利用しようともしません。たとえば、ジョージ・ソロスのような人たちは、自分が神だと信じています。彼らは自分がユダヤ人だとは思っていません。彼らは全世界に影響を与え、全世界を変えることができ、世界統一政府を実現できると思っています。ですから、ロスチャイルドやソロスや、また、ロックフェラーのような一族たちがあり、彼らはユダヤ人の血を継いでいるかもしれませぬ。しかし、それは彼らがユダヤの慣習を守っていたり、イスラエルを愛し、主を愛しているという意味にはなりません。だから、私はいつも「ジャレッド・クシュナーかも…」というトレンド（流行）に反対してきたのです。（ジャレッド・クシュナー：米トランプ大統領の娘イヴァンカの夫で、トランプの娘婿）ニューヨークでの彼の住所は666だから、などといったもの、それはデタラメです。ジャレッド・クシュナーはイスラエルが大好きです。彼はユダヤ教信仰を愛しています。彼は素晴らしい人です。彼は、これらのこととは何の関係もありません。私は個人的には信じていません…。私たちが論じているのは、邪悪な人物です。クリスチャン、ユダヤ人、異邦人などといったレベルで見えていない邪悪な人です。彼は「私は全世界を率い、変え、所有し、欺くべきものの一部なのだ」というレベルの人です。

Q:「ほとんどの教会は、人々にイエスが戻って来られるための備えをさせていません。ですから、私たちはオンラインミニストリーとして、そうする際にガイダンスを必要としています。彼らからの支援を受けずに、どうやってやるのですか？」

A:まず第一に、ほとんどの教会は聖書の預言を避けています。そして、イエスが来られることも。なぜなら、彼らは携挙と再臨を混同しているからです。または、彼らが携挙を信じないため、あるいは、イエスの物理的な再臨を信じていないためです。だから、その大部分は間違った教えと関係があります。オンラインミニストリーは悪くありませんが、それは決して、人々が物理的に集まることに取って代わることはできません。それはヘブル人への手紙10章が、私たち全員に要求していることです。

**いっしょに集まることをやめたりしないで… (ヘブル10章25節)**

ですから、私たちは御言葉を教え、真理を教えることについては、神が私たちに求められることをやるべきだと思います。しかし、私たちはまた、教会に属する必要もあります。私はイスラエルに集会があって、それに参加し、そこに属しています。私は、すべての人が、物理的に一緒に集まることができる場所に行かなければならないと思います。一緒に結集して、主を礼拝するのです。オンラインミニストリーなら、あなたが追加して教えるものは何でも… «電波中断» しかし、あなたは教会につながる必要があります。もちろん、神の御言葉を教えている教会です。私たちは大変謙遜になって、それを行う必要があります。私たちは愛をもって、それを行う必要があります。私がオンラインでミニストリーをやっている時に気づいたことの1つは、あまり愛がないということです。謙虚さも、あまりありません。パリサイ人的な動きの精神が、たくさんあります。多くの人が見当違いのことをしています。彼らは非難するのに早く、赦すのに遅い。だから、神のみことばに接している必要があるのです。そして教会に行き、本当にイエスのようになる必要があるのです。お互いをあざけったり、破壊したりしないように。

Q: 「144,000人の証人のことと、彼らがタイムライン上、どこに来るのか教えてください」

A: 患難時代の最初の部分では、2人の証人がいます。彼らは1,260日間、そこにいます。3年半。その後、彼らはひどく負傷し、3日半後に復活します。そして、神は彼らを連れていかれます。その後、患難の後半では、144,000人がいます。私に言わせれば、彼らは主にイスラエルに<sup>おも</sup>焦点を当てます。だからこそ、144,000人（イスラエルの各部族から12,000人）が存在することが非常に重要なのです。

Q: 「あなたは反キリストが、いま生きていますか？もしそうなら、なぜですか？」

A: 個人的には、彼はいま、生きています。その理由は、彼がまもなく台頭してくるための兆候が見られるからです。ある人が、かつてこう言いました。「11月中旬にクリスマスの電飾が家々を飾っているのが見えたら、感謝祭がもうすぐだということが分かります」世界が、世界統一経済、世界統一宗教、世界統一政府の方向に向かって動いているのが見られたら、欺きがあるのが見えたら、グローバリズムがあるのが見えたら、背教が起こるのが見えたら、第2テサロニケ2章が反キリストの台頭の兆候として述べているすべてのものが見られるなら、私は彼がすでに生きていないに違いないと思います。これが、私が個人的に携挙が私の生きている間に起こると確信している理由です。私の周囲で見えているもののためです。イスラエルは、その地に戻って来ました。エルサレムは私たちの手の中に戻っています。エゼキエル書の連合は、すでに準備万端です。つまり、多くの人々が見たいと思ったけれど、見るができなかった多くのことを、私たちは今日、生きてそれを見ているのです。だから、私は彼が生きていますと確信していますし、申し上げたように、これらがその理由です。

Q: 「私たち聖徒は、7年間の患難の間、天国で何をしているのでしょうか」

A: さて、私たちは「さばきの座」の前に立ちます。私たちは子羊の婚宴を経験します。そして、私たちは長い礼拝に出席します。私が皆さんに思い出してもらいたいのは、私たちが物理的な肉体、物理的な時間、そしてこの世界のすべての物性から、永遠の栄光の体に変えられます。それによって、私たちがここで経験する時間は、私たちがあちらで経験する時間と全く同じではないと思います。時は非常に速く経過するでしょう。それと同じように、私が信じているのは、千年王国の間に私たちがここに帰って過ごす時間が、私たちにとって、栄光の体を持たないでそこに住む人たちよりも、はるかに速く経過するだろうということです。

Q: 「聖書の中の『選ばれたもの』を、どのように理解していますか？」



A:この質問の内容が、ハッキリと分かりませんが、イスラエルが選ばれていることについて尋ねているのか、または、私たちが選ばれていることについてなのか？選ばれたということは、主が選ばれたことを意味します。少なくともイスラエルに関しては、主は国々の中から彼らを選びました。彼らが、より聖くて、もっと優れているわけではありません。しかし彼らを通して、神は、全世界にご自身を明らかにしようとしていたためです。聖書全体を通して、それが分かります。

**神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、“世”を愛された。（ヨハネ3章16節）**

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、『イスラエル』を愛された」ではありません。だから、選びというのは、だれかがもっと優れているからではありません。選びというのは、より高い使命、より大きな責任、より高い基準に立つためのものです。世界の残りの者たちに、ご自身を明らかにするためです。

Q:「創世記6章にある、『神の子ら』とは誰ですか？」

A:これは微妙な質問です。私は、個人的に、これは御使いたち… 墮天使たちだと思います。ところで、私はフィリピンで、「Great Collusion / 大きな共謀」というメッセージを収録するつもりです。オランダで一度メッセージをしましたが、それにはオランダ語の通訳が入っているので、また収録することにします。そのメッセージの中で創世記6章について言及しますから、お楽しみに。

Q:「これはどういう意味ですか？『主が家を建てるのでなければ、建てる者の働きはむなし。主が町を守るのでなければ、守る者の見張りはむなし。』（詩篇127編）」

A:ああ…、例はたくさんあります。多くの人は、召されていない事を、自ら召して、それを行います。そして、彼らは物事を行います、彼らは、なぜ長続きしないのか分かりません。多くの人々は神の名において物事を行います、神は、一度も彼らにそれをするようにとは命じられませんでした。いいですか。聖書は、滅び得るものは、最終的に、すべて滅びると言っています。そして、神の物だけが残る、と。我々はまた、すべてが火によって試されることも知っています。そして、神の物だけが、天でその試みに耐えるのです。信者である、私たちもそうです。私の言いたいことは、非常に明確です。：神からの明確な召しが無い限り、あなたは神に召されたフリをして、物事をしない方が良いのです。神からの明確な召しが無い限り、神が一度もあなたを召していない場所にはいない方が良く、行かない方が良いのです。神が、あなたに、「言いなさい」とは一度も命じていないことは、言わない方が良いのです。多くの人々がミニストリーを、何かトレンドイでカッコいいことのように思っていますが、彼らの多くは、その権力や名声、それからお金に酔っています。彼らのやり方を見ると、お金が絡んでいます。しかし間違いなく、彼らは、神が彼らを召された位置にはいません。それで、それらのミニストリーは終わりを迎え、そして彼らは失敗し、崩壊しますが、彼らにはその理由が分かりません。そもそも、そこに主がおられなかったからです。あるいは、ある時点で、彼らは、主がそこにおられるかどうかを、もはや全く気にしなくなったか。神が、ご自分のために神殿を建てることを、イスラエルに許された経緯を思い出します。最初は、すべてが素晴らしかったのです。歴代誌の描写を読めば分かります。いかに、そこに主がおられたか。ソロモンが、いかに、あの素晴らしい祈りをし、その家を『祈りの家』と呼んだか。この驚くべき建物の上に、いかに主の栄光が臨んでいたか。それから、エゼキエル書の最初、8章、9章、10章、そして11章で、彼らが、もはや神殿で神を礼拝していないことが分かります。神殿は、ただの建物で、彼らはタンムズを崇拜し、太陽や月を拝んでいました。彼らは、そこでひどいことをしたのです。彼らは、かつては神殿に行っていました。そして、神殿で仕えるはずでした。しかし、神は、もはや「神の家」にはおられず、主は去られました。聖書は告げています。主の栄光は、神殿の敷居から出て行って、次に内庭、そして最終的には、10章と11章でオリブ山へ。主は去られたのです。だから、時に、家があっても、神がそこにいなければ、神殿に何が起こったと思いますか？それは破壊されました。神の御霊が入ったまま破壊されたわけではありません。それが破壊されたとき、御霊はそこにおられませんでした。

Q:「ヘブル人への手紙12章1節は、『こういうわけで、このように多くの証人たちが、雲のように私たちを取り巻いている』と告げていますが、これらの証人は誰ですか？」

A:多くの人々が、証人というのは私たちの愛する人たちみんなだと思っています。それは悪くないことですが、私はいつも、皆さんを文脈に連れ戻したいと思います。12章のすべては、11章から続いています。11章では、旧約聖書のすべての偉大な英雄たちの名が書かれています。それが12章の初めに彼が言及している、雲のように私たちを取り巻く証人です。

そろそろ終わりにしなければいけないと思います。もう10時です。

最もよく問われる質問：

Q:「子どもたちはみんな、携挙されますか？」

A:私には分かりませんが、ひとつ私が知っているのは、イエスは言われました。

**子どもたちをわたしのところに来させなさい。…神の国は、このような者たちのものです。**

**(ルカ18章16節)**

さて、彼ら全員がすでにイエスを信じていたから、イエスはそう言われたのでしょうか？彼らがすでに主に従っていたので、イエスはそう言われたのでしょうか？いいえ。しかし神には、子どもたちに対して非常に特別な思いがあることを、私は知っています。私がそれを知っているのは、イエスが弟子たちに言われたからです。「彼らを押しのけてはいけません。子どもたちを、わたしのところに来させなさい」ですから、イエスが来られ、ご自分の民を連れて行かれる時、彼は、子どもたちを連れて行きたいと願っておられる、そう信じさせてください。それが慰めになるなら…。私には、それ以上は分かりません。私は、すべてを知っているわけではありません。私は、私がイエスのされたことから知り得ることを伝えるだけです。主が子どもたちに対して特別な思いを持っておられたことを。

もう少し質問がありましたが、それらのすべてに答えることはできませんでした。しかし、その大半にお答えしました。次のQ&Aセッションを楽しみにしています。たぶん、数週間後に行きます。しかし、それまで皆さんに申し上げます。神のそばから離れないでください。元気を出してください。主が完全にコントロールしておられます。マスコミの言うことに脅かされてはいけません。彼らは「ミディヤン人」です。世の中で何が起ころうとも、何らかの理由があって起こっていること、また、神が完全にコントロールしておられることを覚えてください。私たちは、携挙がすぐ近くに来ていることを覚えておく必要があります。私たちに、周りで起こっているすべての兆候が見えています。私たちは、まもなく、主とともにいるために、集められます。それまでは、私たちは御言葉を宣べ伝え、御言葉を人々と分かち合わなければなりません。皆さんに知っていただきたいのですが、皆さんは教会に行かなければなりません。教会に献金し、そして主に仕えなければなりません。一緒に集まることを忘れないでください。そして、皆さんに知ってほしいのは、あなたに慰めを与えることができるのは、聖書だけです。他にはありません。神の御言葉は真理です。イエスは言われました。

**父よ。真理によって彼らを聖め別ってください。あなたのみことばは真理です。(ヨハネ17章17節)**

お父様、あなたのみことばに感謝します。それは真理です。

お父様、イエスと十字架上で主が完成された御業に感謝します。

お父様、救いに感謝します。それは主の御名を呼び求める、すべての人に与えられます。

お父様、ここアジアでは今夜、そしてアメリカでは今朝、世界の一部では真夜中ですが、あなたがあなたに属する人々を訪れ、彼らを慰め、彼らを回復し、彼らを強めてください。引き続き、彼らにあの希望を与え

てください。あなたがすぐに戻って来られるという、祝福された希望を。ヨハネ14章にあるように、あなたは私たちを、あなたがおられる場所に連れて行ってくださいます。  
あなたに感謝し、あなたを祝福します。  
イエスの御名で。アーメン。  
アーメン。

皆さん、どうもありがとうございました。技術的な問題がいくつかありました。部分的に見逃した方は、YouTubeで全部ご覧ください。  
Instagramで私をフォローしてください。BeholdIsrael  
Twitterも、Behold Israel  
Facebook、Behold Israel  
YouTube、Behold Israel  
毎週送信するニュースレターに登録してください。そして、私たちのウェブサイトを紹介して、毎週のディボーションも。 [beholdisrael.org](http://beholdisrael.org)  
ありがとうございます。  
I love you !  
God bless you !  
フィリピンより、おやすみなさい。



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル  
<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2020.02.05 (Wed)